

# 2020 年度(令和2年10月～令和3年9月) 事業報告書

## 2021 年度(令和3年10月～令和4年9月) 事業計画書(案)

2021 年(令和3年)11月13日



埼玉県ふじみ野市上福岡5丁目4番25号  
埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
ふじみの国際交流センター

理事長 石井ナナエ

事業報告一覧.....	2	5 子どもの健全育成	
総括報告.....	3	5-1 国際子どもクラブ.....	10
1 外国籍等市民の人権擁護と自立支援		6 外国人への緊急時対策 (2020年度は事業なし)	
1-1 生活相談.....	3	7 まちづくりの推進	
1-2 生活相談学習会.....	5	7-1 行政との協働事業.....	11
1-3 フードバンクによる食料支援.....	5	7-2 インターンシップ.....	12
2 国際理解教育と国際交流の推進		8 NPO への助言・援助 (2020年度は事業なし)	
2-1 国際理解講座.....	6	9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業	
2-2 国際交流.....	6	9-1 機関誌「ハローフレンズ」.....	13
3 多言語情報の収集と提供		9-2 ホームページ・Facebook・インスタグラム...13	
3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」..7		9-3 FICEC 利用.....	14
3-2 翻訳.....	8	9-4 総会・理事会・スタッフ会議.....	15
3-3 通訳.....	9		
4 外国籍児童並びに成人への日本語指導			
4-1 日本語教室.....	9		

事業計画 (案) .....	18
----------------	----

事業計画一覧	
--------	--

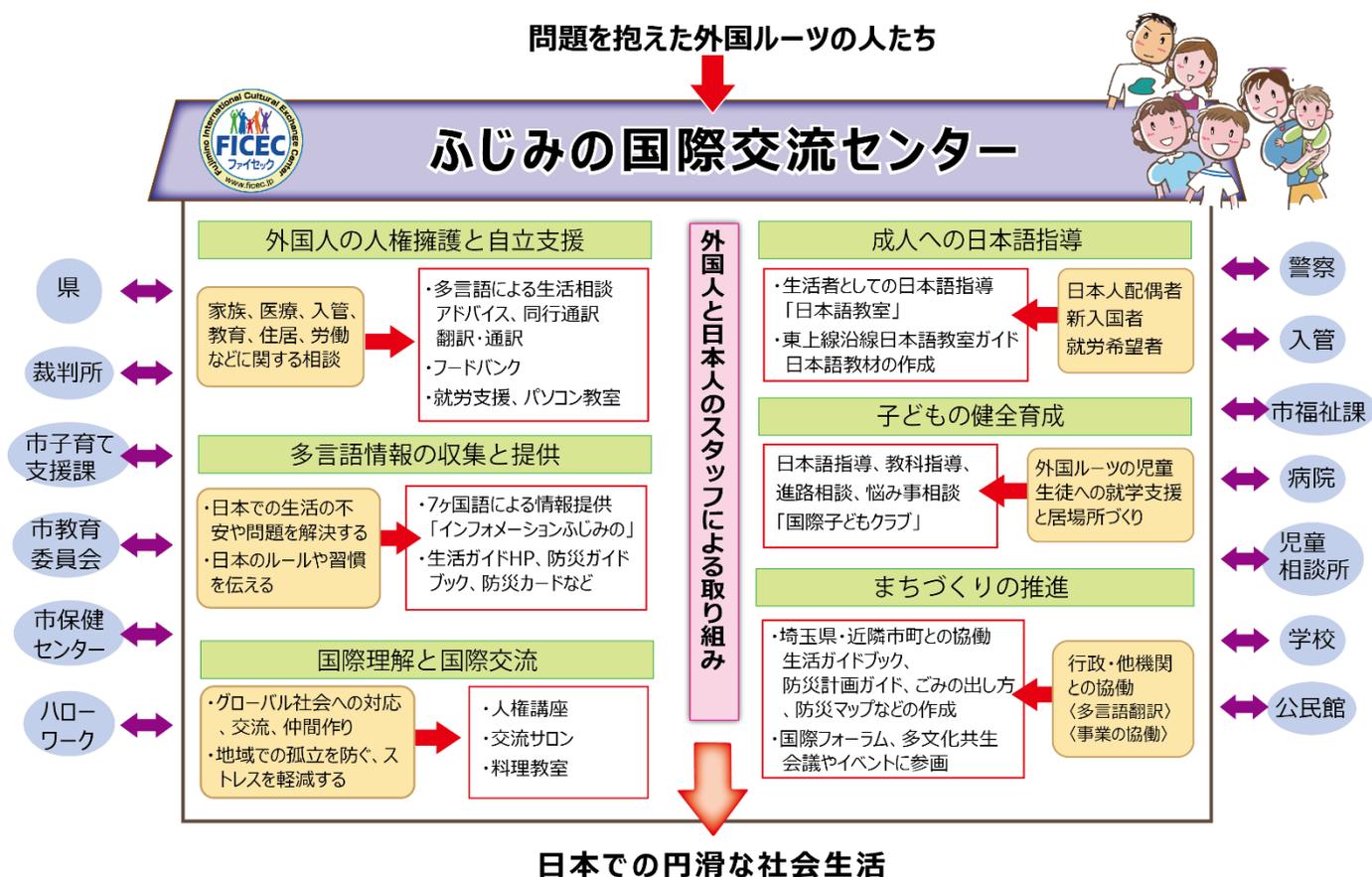
# キーワード 多文化が未来を拓く

## ミッション

ふじみの国際交流センターは富士見市、ふじみ野市、三芳町ならびに周辺の地域に居住する外国ルーツの人たちの自立支援と、一般市民・団体との交流・協力活動を推進し、豊かな多文化共生社会の実現を目的とする。

## ビジョン

子どもの教育	日本に暮らす外国ルーツの子ども達が、等しく教育を受け、基本的な知識を身に付け、夢を持って育ちゆくよう支援する
多言語情報	情報やコミュニケーション手段が不足していることで不利な状態に置かれている人に多言語や、やさしい日本語で情報を提供し、安心、安全な基本的生活を送るための支援をする
日本語支援	日本で生活していくために必要な日本語の学習を支援する 一人ひとりの状況や希望に合った学習内容を考え、より生活の幅が広がるよう支援する
生活相談	相談者の直面している困難に対応し、生活状態の向上につながるよう支援する
国際交流	日本人と外国人が互いの独自性に誇りを持ち、自由に考えを表現できる交流の場を作る
社会的役割	日本人と外国人が共に学びあい、育ちあう場所となる 外国人を取り巻く現状を伝え、多文化がもたらす豊かさと課題を社会に発信する



2020年度(令和2年10月~令和3年9月)事業報告書

事業名	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者	支出額(千円)
外国籍等市民の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10人	579件	1,567
	生活相談勉強会	30回	FICEC、Zoom	15人	1000人	
	フードバンクによる食料支援	通年	FICEC	5人	578人	
国際理解教育と国際交流の推進	国際理解講座	18回	公民館、社協 他	2人	約2,000人	272
	国際交流サロン・イベント	2回	FICEC 他	3人	20人	
多言語情報の収集と提供	多言語生活情報誌の発行	6回 1500部	FICEC	13人	12万人	1,987
	生活ガイドHP維持管理	必要に応じて	FICEC	8人	約45万件 (アクセス数)	
	翻訳	154件	FICEC、県内	9人	埼玉県民	
	同行通訳	20件	学校・市役所	6人	埼玉県民	
外国籍児童並びに成人への日本語指導	日本語教室	月・木曜日中心 85回	FICEC	15人	439人	22
子どもの健全育成	国際子どもクラブ	土曜日を中心に通年	FICEC	18人	延368人	257
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	30人	埼玉県民	0
	行政関係会議・他団体との交流	20回	県内	5人	埼玉県民	0
	インターンシップ	4回	FICEC	9人	1人	0
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	機関誌の発行	3回	FICEC	10人	3000部	3,865
	ホームページ・Facebook・インスタグラム	随時	FICEC	10人	40万件	
	学習環境の整備	11/2-11/30	FICEC	外注	400人	2,315

## 《総括報告》

飽くなきコロナとの戦いの中、スタッフ・ボランティアが力を合わせ、今年も地道に黙々と活動を続けてきた。近隣の公共施設の一般利用が制限されたせいか、日本語を習いに来る学習者が急増した。

三菱財団・中央共同募金会の助成金で学習室を増設し、学習者を2分割して日本語の勉強をした。またコープみらい社会活動財団の助成金で飛沫防止シートを設置し、消毒薬やマスクを常備するなど、万全の体制を整えることもできた。日常の日本語指導スタッフだけでは足りず、地域のボランティアの人たちにも随分手助けをしていただいた。

10月から始まったフードバンク事業は、フードバンク埼玉からの途切れることのない食品の提供に加え、地域の皆様や一食運動団体・ふじみ野市・近隣市民の人たちからの協力も得て、日用品雑貨衣料も揃えることができた。

国際理解講座の講師依頼や、毎年70件以上の依頼があるビザの申請や変更に必要な書類の翻訳依頼がピタリと途絶えた事が、収入に大きく影響を及ぼしたといえる。

コロナ禍でたった1つ見つけた良い事は、オンラインの普及で、全国各地で開かれている講座を無料で受講できたこと。入管法入門講座から始まり外国人労働者の実情や子どもの学び・NPOの会計処理に至るまで、センター内の5台のパソコンを駆使して密にならないよう気を使いながら、スタッフみんなで学習ができた。

今年度最大の出来事は日本テレビからの無料の大規模改修工事依頼だったと思う。有吉ゼミ「ヒロミ&ジェシーの八王子リホーム」という番組で「夢を持つ外国人のため日本語教室を大改造」してくれるというのだ。約2ヶ月間にわたる工事で、FICECの拠点が見違えるほどリニューアルされた。開設25年目にあたる今年、何よりの出来事と心から感謝している。

(文責：石井ナナエ)

---

## 1 外国籍等市民の人権擁護と自立支援

### ■1-1 生活相談

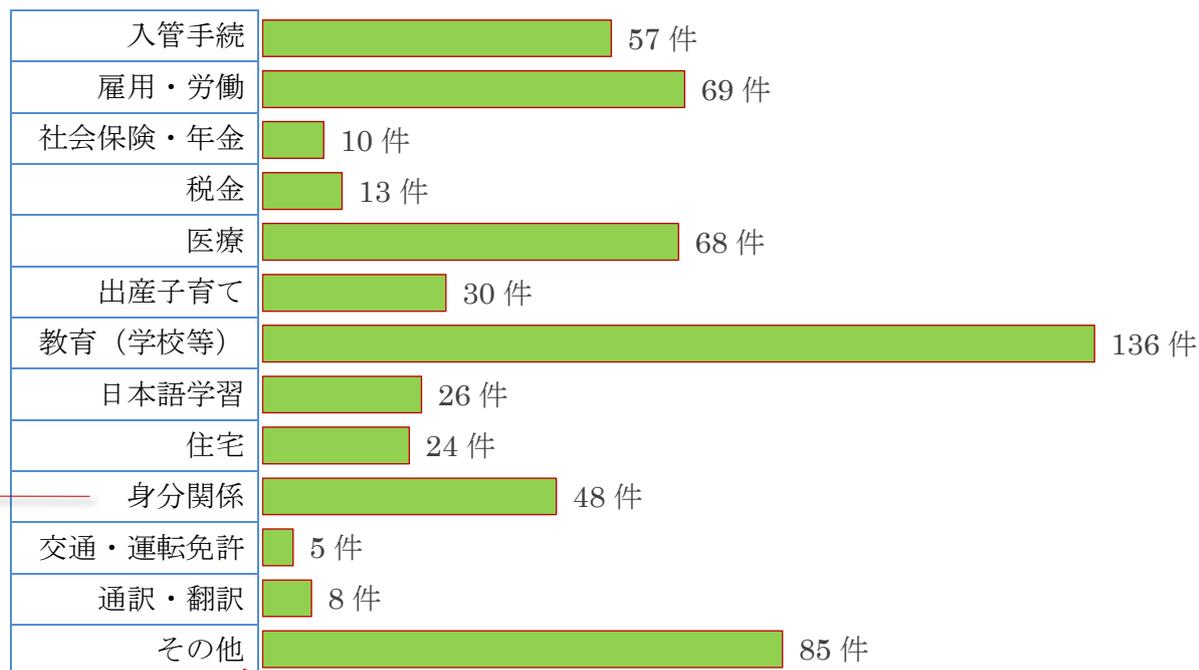
コロナウイルスの感染拡大の影響により本国等への帰国が困難な外国人のうち、技能実習生・特定活動・留学・その他の人も、在留期間が6ヶ月延長になり、在留資格も特定活動ビザに変更になった。また帰国できない事情が継続している場合は、再度の更新を受けることができるようになった。また生活維持が困難な場合は、短期滞在ビザを含めて全ての人が就労できるようにもなった。要するにコロナによって日本国内の外国人事情が一変したと言える。

生活相談の内容も大きく変わった。失業、減給、家賃の不払い、生活困窮、DV等、金銭にまつわる相談が大半を占めた。ワクチン接種を受けることができるのか、どのように予約したらいいのか、貸付金や給付金の申請の仕方を聞きにくる外国人もすごく多かった。借りられる権利は権利として、返済の義務は義務として、しっかり伝えた。

コロナ以外にも、不法滞在や不法就労・結婚詐欺など法律上どうすることも出来ない問題も持ち込まれている。

24時間テレビに出てからは遠方の行政職員や外国人からの相談が増え、これからオンラインで生活相談ができないかしらと、検討することになった。

2020年度（2020年10月～2021年9月）に受けた相談内容の内訳 合計 579件



身分関係（結婚／離婚／DV等）

その他の内容

国勢調査、マイナンバーカードの申請、生活が苦しい、お金がない、給付支援金、ゲーム依存症、口座開設、コロナ給付金、コロナワクチンを接種、ロマンス詐欺

国籍	件
フィリピン	181
日本	78
中国	73
バングラデシュ	37
ネパール	33
パキスタン	27
カメルーン	19
ベトナム	17
モンゴル	9
インド	8
セネガル	8
ブルンジ	7
アメリカ	6
インドネシア	6
コンゴ	6
マレーシア	6
不明・その他	58
計	579件

日本人からの相談

外国人担当の行政職員、外国人関係施設の担当者、日本人配偶者、日本人の知り合いなど

その他の国籍

メキシコ、イラン、ウガンダ、ガーナ、タイ、ブルキナファソ、コロンビア、台湾、ブラジル、スリランカ、ミャンマー、アルバニア、イエメン、カザフスタン、ケニア、スペイン、フランス、ペルー、ラオス、ロシア

その他の住所

上尾市、越谷市、志木市、東松山市、毛呂山町、春日部市、加須市、東京、川島町、戸田市、富山県、羽生市、福島県、宮代町、山口県、和光市、蕨市

住所	件
ふじみ野市	288
富士見市	85
川越市	52
三芳町	41
新座市	36
坂戸市	21
さいたま市	9
不明	6
朝霞市	4
川口市	4
狭山市	4
所沢市	4
滑川市	3
その他	22
計	579件

## ■1-2 生活相談学習会

- ・生活相談担当者学習会  
10/5、10/6、10/7、10/22、  
10/28、1/21、3/4
- ・オンラインによる生活相談  
学習会 23回



## ■1-3 フードバンクによる食料支援



2020年10月から始まった FICEC のフードバンク事業は、赤い羽根共同募金会の助成金をもとに取り組んだ。

1年間で約30か国・578人の利用があった。また FICEC に来所できない人を対象とした宅配便による食料支援は延べ64件となり、とても喜ばれている。



FICEC にはこれまでも地元野菜や食品、古着や学用品の寄付を頂いていたが、フードバンク事業との連携により「在留外国人を対象とした生活支援」が一段と充実した。

月	人
10月	23
11月	7
12月	72
1月	61
2月	49
3月	85
4月	52
5月	53
6月	77
7月	41
8月	24
9月	34
計	578人

国	人
フィリピン	177
中国	115
ネパール	44
パキスタン	23
ベトナム	22
台湾	19
バングラディッシュ	18
ウガンダ	16
コンゴ	15
カメルーン	14
モンゴル	10
メキシコ	9
インドネシア	8
コロンビア	6
タイ	6
イエメン	5
ガーナ	5
ブルンジ	5
イラン	4
セネガル	4
その他	53
計	578人

宅配 [1月～9月]

国	件
フィリピン	34
ブラジル	9
コロンビア	9
ベトナム	2
中国	1
韓国	1
カメルーン	1
不明	7
計	64件

その他  
ジンバブエ・スリランカ  
ナイジェリア・ブラジル  
ブルキナファソ・インド  
ウズベキスタン・オーストラリア  
韓国・モロッコ

### ■2-1 国際理解講座

コロナ禍で、講演依頼件数が激減したが、JACA や東京入国管理局主催の Zoom で参加させてもらった事は大きな経験となった。コロナが消滅し、各地で国際理解講座が開けるようになるのを心から待ち望んでいる。



10/20	順天堂大学医学教育研究会 「医療通訳者から学ぶ」	順天堂大学
10/27	介護労働安定センター 企画委員会	北浦和カルタスホール
10/30	所沢家庭教育学級	小手指公民館
11/11	埼玉県多文化共生 JICA 会議	川越 YMCA
11/18	木崎中学校国際理解講座	さいたま市
11/24	鶴ヶ丘小学校 3年 国際理解講座 「イランについて」	鶴ヶ丘小学校
1/22	介護労働安定センター 企画委員会	北浦和カルタスホール
1/12	千代田学習カレッジ	オンライン
1/21	埼玉未来大学	ウエスタ川越
1/22	所沢市人権講座 (1)	所沢吾妻公民館
2/22	多文化ソーシャルワーカー養成講座	福祉保育医療専門学校
3/7	国際交流基金アジアセンター	オンライン
6/24	生活相談員研修	フレスク四谷
7/1	埼玉未来大学講座「地域の課題と取り組む」	ウエスタ川越
7/9	所沢市人権講座 (2)	所沢松井公民館
7/21	職員研修「福祉のまちづくり」	朝霞市社会福祉協議会
8/23	日本語指導研修「外国ルーツのこどもの教育」	ふじみ野市役所
9/16	大宮高校国際理解	Zoom

### ■2-2 国際交流



集まって、しゃべって、一緒に食べて、みんなで笑うためにあるのが国際交流の事業なのに、この1年間の国際交流は「やってはいけない」事の中でできる事を探さざるを得なかった。3年目に入り軌道に乗りかけた交流会「café FICEC」は残念ながら2回の開催で終わってしまったが、初めてオンライン Zoom による交流会を開催する事が出来た。

来年度もコロナの流行が予測されている中で、今回 Zoom 交流会を活かして、今までとは違う交流会を楽しめるよう計画を立てたい。そして、国際交流として初めて助成金に挑戦しコロナ禍でも出来る新しい事業を始めることが出来た。(詳しい内容については事業計画案をご参照ください)

コロナのせいでダメだったではなく、コロナ禍でも出来る・コロナ禍だから出来る事業を続けていきたい。

5/1	Café FICEC 「韓国語 1 時間留学」	FICEC
9/21	Café FICEC 「ハンゲルを読もう」	Zoom

### 3 多言語情報の収集と提供

#### ■3-1 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」

外国人が直面している問題を取り上げ、正しくわかりやすく解説して、日本語が理解できないことで不利にならないようにと多言語情報誌を作成している。

毎月、家庭に届く市報には「新型コロナ、学童保育、就学時健康診断、夜間診療所、ひとり親家庭特別給付金や入学準備金など」大切な手続きやサービスの情報が掲載されている。このような情報は多言語にしてみなさんに知らせたいが、「インフォメーションふじみの」が隔月発行であること、また翻訳期間が必要なため、1 か月半前に記事を入手することができないことが課題となっている。

- 翻訳言語〔中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、ベトナム語〕 Facebook 配信〔やさしい日本語〕
- 発行回数〔隔月刊 年 6 回〕、発行部数〔1500 部〕
- 配布場所〔県内国際関係機関やふじみ野市、富士見市、三芳町の公的機関、日本語版のみ FICEC 全会員に郵送〕



242 号 2020 年 11,12 月号	<p>大学や専門学校に進学したいけど、お金のことが心配な高校生へ 解雇された外国人労働者の就労支援</p> <p>・FRESC ・生活相談あれこれ ・富士見市役所内の生活相談 ・ FICEC で翻訳します ・『インフォメーションふじみの』 ベトナム語版ができました ・ インスタグラムを始めました</p>
243 号 2021 年 1,2 月号	<p>日本で働くために知っておくこと</p> <p>・ハローワーク川越では英語、ポルトガル語、スペイン語でも対応しています ・ベトナム寺院「大恩寺」 ・中国人をねらったサギに気を付けて ・生活相談あれこれ ・ FICEC フードバンク ・新しい学習室ができました ・国際子どもクラブ</p>
244 号 3,4 月号	<p>やっと認められた子どもの学び</p> <p>・日本の学校の組織 ・JFT-Basic 国際交流基金日本語基礎テスト ・生活相談あれこれ ・ FICEC フードバンク始めました ・埼玉県県営住宅の申し込み</p>
245 号 5,6 月号	<p>交通事故にあったら まずどうする？</p> <p>・生活相談あれこれ ・ボランティアを募集しています ・出入国在留管理庁から 日本で生活する外国人のみなさまに 役に立つ情報をメールで届けます ・活動を再開しました〔日本語教室・国際子どもクラブ〕</p>
246 号 7,8 月号	<p>税金の滞納と在留資格</p> <p>・新型コロナワクチン「接種券」が届きます ・生活相談あれこれ ・外国人のための就活ガイド ・マスクと熱中症</p>

247号 9,10月号	フードバンクは『食品を通じた地域の助け合い』
	・衣類や学用品などを差し上げます ・生活相談あれこれ ・日本語の試験に挑戦してみませんか ・FICECの事務所がリニューアルしました

### ■3-2 翻訳

昨年度は、一昨年247件あった翻訳件数が感染爆発の影響で昨年度は146件と激減し、コロナ禍が続いた本年も、依頼者数87名、翻訳件数154件であった。日本政府が入国制限を敷いたため、母国から呼び寄せたくとも入国できず、翻訳依頼が減少したままであったと思われる。

依頼者の国籍で最も多かったのは例年通りフィリピンで、87人中54人と全体の62%を占めた。次に多かったのは日本人の16名で、昨年度の6名から大きく増加した。逆に去年15名あったネパール人は4名に減少した。

依頼内容で一番多かったのは、フィリピン人から依頼された出生証明書であった。婚姻証明書と合わせると、この2種の証明で総数の60%を占めたことになる。目新しい所では、入院等の医療関係と死亡届関係の証明書等が微増した。他翻訳内容は24種類と多岐に渡り、毎年新しい内容のものを依頼されるようになってきた。

依頼者の国

フィリピン	54
日本	16
ネパール	4
中国	3
バングラディッシュ	2
パキスタン	2
ブラジル	2
スリランカ	1
カナダ	1
ナイジェリア	1
ガーナ	1
計	87件

翻訳内容

出生証明書	71
婚姻証明書(英→日)	21
病院関係証明書 入退院等(中・英→日)	10
独身証明書(英→日)	5
死亡手続き証明書 死亡証明書・診断書等	4
戸籍謄本・抄本(日本語→英語)	4
ラブストーリー(英→日)	3
親族関係証明書(英→日)	2
在職・在学証明書(日→英)	2
住民票(日本語→英語)	2
国籍証明書(英→日)	1
退職証明書(日→英)	1
建物登記簿(日本語→英語)	1
印鑑証明書(日本語→英語)	1
給与明細(英語→日本語)	1
Web翻訳(英語→日本語)	1
その他	24
計	154件

### ■3-2 通訳〔同行通訳〕

本年度、同行通訳事業は「三菱財団法人」からの助成金で引き続き支援の輪を広げる事ができた。だが補助金の限度額上の理由で、初回のみ無料で、2回目からは自己負担の制度で行った。その結果、自己負担は難しいという経済的な理由で利用者が減った。特に医療分野では、同行通訳が一定期間続行して担当する必要がある、生活困窮の利用者にとって金銭的負担が重荷であるという課題が残った。

同行通訳は行政、医療、司法、生活等の多岐の分野であるが、特に医療通訳者の人材育成の実行の必要性を感じる。

言語別（件）

中国語	英語	タガログ語	スペイン語	ネパール語	タイ語
3	8	6	1	1	1



同行通訳内容（件）

医療	教育	行政	司法
9	4	5	2

4 外国籍児童並びに成人への日本語指導

■ 4-1 日本語教室

開催日	10月 週1回 11月1日～1月7日 月曜から金曜日 週4回 1月8日～3月21日 緊急事態宣言で中止 3月22日～3月31日 月曜から金曜日 週4回 4月中 週1回 5月～7月 週2回 月曜日と木曜日 8月～9月 緊急事態宣言で中止
開催日数	計85回
延べ人数	439人 1回の平均学習者数 5.1人
参加者の国籍	1メキシコ 2ベトナム 3フィリピン 4ジンバブエ 以下イラン、アメリカ、ネパール、パキスタン、ウガンダ、コンゴ等



新型コロナによる緊急事態宣言が発令された場合は日本語教室は行わないということがスタッフ会議で決まったため、日本語教室の休止と再開を繰り返した。休止の時はHPやフェイスブックなどでお知らせするほか、いつも来る人たちにはラインやショートメールなどで伝えた。

学習者の密集を避けるため、5月から月曜と木曜日の週2回開催し、一人週1回のみ来てもらうようにした。他の日本語教室の中止、日本語学校の休校などで、日本語を教えたい有資格者のボランティアが増えたこともあり、7月からはボランティアも週1回の参加とした。

大井親子日本語教室

コロナ禍と大井中央公民館の改築により中止。その間の学習者2名を引き受ける旨の業務委託を請け負った。

## ■5-1 国際子どもクラブ

1 参加者(毎週土曜日) 学習ボランティア 合計 18名 単位 (人)

月	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
生徒数	36	28	34	8	14	14	42	58	58	43	18	15	368
指導者	25	25	22	9	8	6	25	34	22	35	8	10	229
計	61	53	56	17	22	20	67	92	80	78	26	25	597

## 2 取り組み

## ①前半(10月～3月まで)

- \* コロナ禍の影響が大きく、感染状況により児童生徒の参加数が激減する月が増えた。
- \* 不登校の中学3年の生徒を学校から週3回預かり半年間学習支援をした。
- \* 今年度は、5人の中学3年生を抱えており、学習の遅れを取り戻すのが大変だった。
- \* 中学3年生の学習支援と進路指導を重点的に行った。
- \* 生活が苦しい家庭も多くあり、フードバンクを活用できて有難かった。
- \* 小学生と中学生以上の生徒の学習時間が重ならないように注意した。



## ②後半(4月～9月)

- \* カパティラン奨学金→1名受理
- \* 昨年度参加していた児童生徒の半数が、参加しなくなった。
- \* コロナの状況が多少良くなった時期に来日できた、新しい児童生徒が数人学習に参加してきた。
- \* バングラデシュと中国出身の16歳の生徒2名の平日学習支援を始めた。
- \* 緊急事態宣言時の8～9月の期間中は、生活相談対応として受験生数名と15才以上で高校受験を目指す生徒の学習支援を行った。
- \* コロナ禍で、居場所作りの取り組みができなかった。そのため学習自粛期間中の児童生徒の動向が掴めなかった。支援を必要としている児童生徒にどう対応したら良いか思考錯誤した。

## ③学習支援ボランティアさんについて

- \* 仕事を持っている人、学生、遠方から参加してくれていた人達がいたが、コロナ禍でボランティアの時間の都合をつけることが出来ずに辞めた人が多く出た。  
長期間支援いただいたのに、お礼も言えず最後になってしまった方が数名いたのが大変残念だった。

3 学習者のルーツ 今年度登録生徒 計 33名

中国	16名	フィリピン	11名	ネパール	1名	バングラデシュ	1名
パキスタン	1名	アメリカ	1名	マレーシア	1名	ベトナム	1名

2020 年度、外国人への緊急時対策事業はありません

## 7 まちづくりの推進

## ■7-1 行政との協働事業

FICEC のホームグラウンドである富士見市・ふじみ野市・三芳町では、理事・スタッフが審議委員等、様々な形で参画させていただいている。この2市1町が県内でも特に在留外国人支援について関心が深く、様々な施策を考え協働させていただいていることを、いつも感謝している。埼玉県もいろいろ考えてくれている。

内容と開催月日	担当
第1回ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画市民検討委員会（10/1）	安
ふじみ野市環境委員会（10/1、8/3）	安
ふじみ野市協働のまちづくり推進隊委員会（10/8）	長谷川
ふじみ野市社会教育委員会（10/15、6/17、9/28、12/16）	江
ふじみ野市平和推進実行委員会（10/19、6/18、7/6、9/16）	山畑
埼玉県国際協力情報交換会（10/20）	石井
ふじみ野市児童センター運営委員会（10/23、3/16）	山畑
埼玉県日本語教室支援協議会（11/6、8/17）	矢澤
ふじみ野市外国人親子支援事業（11/19、12/16、5/10、6/19、7/26、8/23、9/14）	江
いきいき埼玉撮影（12/21）	石井
ふじみ野市子ども子育て支援委員（2/2）	山畑
埼玉県多文化共生推進会議（2/9、7/27）	石井
ふじみ野市要保護児童対策審議会（3/10、6/23、9/29）	小熊
ふじみ野市男女共同参画審議会（Zoomにて2回）	石井
富士見市国際友好協会総会（7/16）ミーティング（10/7）	茂木
埼玉県社会教育課との話し合い（5/21）	江・石井
埼玉県人権施策推進懇話会（5/24）	石井
ふじみ野市社会福祉協議会 第3回理事会（6/22）	安
ふじみ野市社会福祉協議会 ボランティア連絡会議（7/26）	三宅
ふじみ野市地域福祉計画審議会（7/30）	小林
第2回ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画市民検討委員会（8/3）	安
2市1町国際化推進会議 三芳町役場（8/26）	理事5人

委託事業、翻訳・編集事業

埼玉県	
・埼玉県国際課「外国人の生活ガイド」	韓国語・タガログ語・ポルトガル語・スペイン語・ベトナム語・タイ語
・埼玉県国際課「新型コロナ注意喚起」	タガログ語・ベトナム語・タイ語
・埼玉県小児医療センター入院案内	英語
ふじみ野市・富士見市・三芳町	
・「外国人生活相談窓口業務」(参照 1-1)	ふじみ野市(週5日) 火・水・木 10:00~16:00、月・金 13:00~16:00 富士見市(週2日) 木 13:00~16:00、金 10:00~13:00 三芳町(週2日) 月 10:00~13:00、木 10:00~13:00
・「外国籍市民のための生活ガイドホームページ維持管理業務」	英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語
ふじみ野市	
・「生活ガイドブック」更新、ネパール語追加	英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語・やさしい日本語・ネパール語
・新型コロナワクチン接種	タイ語・タガログ語・ベトナム語
・ゴミの分け方・出し方	やさしい日本語
富士見市	
災害時のゴミ出しハンドブック	英語・中国語・韓国語・タガログ語・ベトナム語
その他の地域	
・川越市水道局「給水契約者向け案内文」	英語・中国語(繁体字)・韓国語
・ふじみ野救急病院「新型コロナ PCR 検査」	ネパール語

■7-2 インターンシップ



埼玉県グローバル人材向けインターンシップの事業は、埼玉県が平成 25 年に設置し、事業運営を埼玉県国際交流協会に委託している。その概要は日本人留学生、外国人留学生を対象とし、留学前から留学後の就職までをトータルに支援するため、彼らの支援及び就職支援を目的としている。この事業を毎年 FICEC が受け入れをしているが、去年より続いているコロナの影響で、今年は申し込み者が低調で、中国からの留学生一名のみで行った。

受け入れ先の団体や企業がインターンシップ受け入れを辞退する中、理事長のモットーである「一人の人を大切に」という想いを大切に、スタッフ全員の誠意と協力で4日間の研修を終えることができた。

8月30,31日、9月1,2日の4日間の研修内容は、FICECの理念、又、主な活動である生活相談、日本語教室、翻訳・通訳業務、広報活動、多言語情報誌、子供の学習支援及び取り出し授業、フードバンク、就職実習など多岐にわたった。

2020 年度、NPO への助言・援助はありません

## 9 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## ■9-1 機関誌「ハローフレンズ」

2021年1月号 155号
<ul style="list-style-type: none"> <li>●2021 願う コロナ消滅</li> <li>●新しい学習室ができました ●フードバンク開設しました</li> <li>●インターンシップ活動報告</li> <li>●スタッフ紹介 FICEC のためにできることを探しながら頑張ります 永田信雄</li> <li>●(新) おくにおやつ 「ミキさんのキャッサバケーキ」</li> <li>●いつも応援しています 小諸悦夫 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2</li> <li>●(新) 応援します! 地域でがんばる外国人 第2回 株式会社グローバルハブ代表取締役 スザン ゴシさん</li> <li>●インフォメーション&amp;広告</li> </ul>
2021年5月号 156号
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「つくる責任 つかう責任」と FICEC ●フードバンク FICEC の様子</li> <li>●FICEC を卒業した子どもたちの活躍 13 「すべての努力は自分のため」サンチェス リーアン</li> <li>●スタッフ紹介 「日本に来た外国人が笑顔ですごせる」にかかわりたい 神田順子</li> <li>●おくにおやつ 「ミキさんのギナタアングハロハロ」</li> <li>●いつも応援しています 西山正浩 ●見送りの三振より空振りの三振 PART2</li> <li>●応援します! 地域でがんばる外国人 第3回 ECC ホームティーチャー/FICEC スタッフ 吉井ジュリエッタさん</li> <li>●インフォメーション&amp;広告</li> </ul>
2021年9月号 157号
<ul style="list-style-type: none"> <li>●FICEC がリニューアルしました/総会のご案内</li> <li>●「生中継でのお披露目を終えて」橋本翔輝(株式会社えすと)</li> <li>●FICEC を卒業した子どもたちの活躍 14 「看護師をめざして」史 佳夢</li> <li>●スタッフ紹介「相談者の身になって」進 洗子</li> <li>●おくにおやつ「安さんのヤッパ(薬飯)」</li> <li>●café ficec のお知らせ</li> <li>●見送りの三振より空振りの三振 PART2</li> <li>●応援します! 地域でがんばる外国人 第4回 英語教室シールズ株式会社 シールズ埼玉 レイチェル コサル ソブレカレイさん 竹田アイザさん</li> <li>●インフォメーション&amp;広告</li> </ul>



## ■9-2 ホームページ・Facebook・インスタグラム

## ①ホームページ

今年の4月中旬から「グーグル アナリティクス」を HP のお知らせを除く全てのページに設置しアクセス解析を開始した。



数字については以前とはカウントの方法が違うのでアクセス数について以前の数と比較はできない。

10月までのユーザー数は日本で1万4千人、2番目に多いのはフィリピンからのアクセスで5,983人、その他中国やアメリカなど世界各国からの訪問がある。今年8月に3回TV出演した際には多くのアクセスがあり、トップページとボランティアについてのページが一番多く閲覧され、問い合わせメールからボランティア参加希望者が殺到した。

緊急事態宣言、宣言の延長、解除の時にフェイスブックと連動して日本語教室と子どもクラブのお知らせを伝えた。

## ②Facebook

8月に日本テレビの番組（「有吉ゼミ」「24時間テレビ」）への出演があり、Facebookでその告知を行った。リーチ数（そのページを1回以上見た人の推定数）が多かったのが、番組出演の告知ページ（リーチ数1,953）と番組への感謝を綴ったページ（リーチ数1,828）だった。

エンゲージメント数（「いいね!」、シェア、コメント、クリックの合計値）が多かったベスト3は、全てInstagramからの投稿で、ハッシュタグ（#）をつけた投稿は、Facebookでもたくさんのリアクションがもらえることがわかった。

## ③Instagram

フォロワー 9月26日現在 141名

トップの場所

ふじみ野市	坂戸市	さいたま市	川崎市	富士見市
17.9%	7.4%	6.3%	5.3%	4.2%



年齢層

13～17歳	18～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳
2.1%	7.4%	22.1%	16.8%	28.4%	10.5%	12.6%

## ■9-3 FICEC利用

(単位:人)

2020		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開館日数		29	24	24	23	24	29	25	24	27	24	25	27	305
来訪者	外国人	191	178	169	100	88	205	171	173	209	153	90	111	1838
	日本人	65	72	50	42	39	39	60	88	101	65	22	68	711
	小計	256	250	219	142	127	244	231	261	310	218	112	179	2549
スタッフ	外国人	26	24	21	16	17	20	22	36	38	18	25	23	286
	日本人	174	147	143	115	122	170	147	134	182	144	164	161	1803
	小計	200	171	164	131	139	190	169	170	220	162	189	184	2089
合計		456	421	383	273	266	434	400	431	530	380	301	363	4638

### ■9-3-2 その他、来訪

8/22 24 時間テレビで FICEC 放映、8/24 引っ越し

#### 来訪者

10/2	ベネッセ担当者	2/19	ふじみ野市福祉課
10/16	所沢市教育委員会職員	4/8	埼玉県国際課 4 人
10/16	日本財団	4/8	三芳町環境課
10/19	交流協会・JACA・NGO ネット理事	4/21	埼玉県生涯学習課 3 人
10/21	上福岡総合病院職員	4/22	三芳町
11/12	元富士見市市長	5/19	ふじみ野市学校教育課
11/17	大井中央公民館職員	5/27	難民支援協会
11/25	三芳町健康増進課・子育て課職員	6/14	日本テレビディレクター
12/4	クレア職員	6/15	行政書士会
1/15	所沢市教育委員会職員	6/18	ラオス協会広報部
1/18	ふじみ野市福祉課	6/24	日本テレビディレクター
1/27	行政書士会広報部	6/30	所沢家庭教育学級職員
2/18	県会議員	7/30	ふじみ野市学校教育課

### ■9-4 総会・理事会・スタッフ会議

・理事会に新理事として三芳町の神田順子さんが加わった。

・コロナ禍にあるため、理事会・スタッフ会議は縮小せざるを得ない状況であった。その中で Zoom の活用を第 7 回、第 8 回スタッフ会議で試みた。

(第 7 回…参加者 11 人のうち Zoom 参加が 5 人、

第 8 回…参加者 10 人のうち Zoom 参加が 4 人)

その後、今後の会議の形式について話し合ったが、

Zoom でなく対面で行う会議をしたいという意見が大半だったため、以降は対面でのスタッフ会議を行っている。

・第 15 回スタッフ会議は、東京出入国在留管理局の方が来所の予定だったが緊急事態宣言中だったため、Microsoft Teams を使ってオンラインでの研修となった。



月日	総会・理事会	議案	人数
10/25	2019 年度 第 5 回 理事会	・総会資料の検討 ・定款の変更について ・総会時の役割、予定確認 ・ベネッセ子ども基金助成事業の今後について ・三菱財団×中央共同募金 会の助成金「外国にルーツのある人々への支援活動応援助成」	10
11/8	2019 年度(2019 年 10 月~2020 年 9 月)総会/西公民館		45 (内委任状 20)
11/8	第 1 回 理事会	・新旧理事顔合わせ ・理事長選定の件 ・FICEC 組織図 ・中央労金への 家具引き取りについて	9
12/26	第 2 回 理事会	・副理事長の増員について ・フードバンク事業の今後の予定とその進め 方、FICEC の役割 ・事務室、学習室の修繕状況と今後 ・新学習室の午 後の活用方法 ・寄付金を増やす方法 ・外国人スタッフを増やす方法	9

3/28	第3回理事会	・三菱財団×中央共同募金の助成金報告 ・連合、愛のかんば「地域助成」の申請について ・学習室活用 ・運営分析「NPO 見える可ナビ」の分析結果	7
------	--------	---	---

月日	スタッフ会議	議案	人数
10/13	第1回スタッフ会議	・埼玉県グローバル人材育成インターンシップ最終報告 ・法務省審査管理部門相談員の説明会参加報告 ・ベネッセ子ども基金助成事業の継続承認 ・三菱財団助成金の事業（同行通訳、フードバンク）	13
10/28	第2回スタッフ会議	・三菱財団助成金の事業開始 ・ベネッセ事業の終了に伴う日本語指導の今後 ・理事会報告 ・学習室の工事日程 ・事務所のレイアウト案 ・総会時の役割、予定確認 ・電話とインターネットの環境をJcomに変更	9
11/10	第3回スタッフ会議	・電話とインターネット環境について ・理事会報告 ・ベネッセ事業の今後について意見交換 ・新事務所のレイアウト	12
11/25	第4回スタッフ会議	・アイスブレイク「日本語教育」 ・電話とインターネット環境について ・学習室の引き渡し ・国際理解講座報告 ・ベトナム支援団体の紹介 ・ベネッセ事業（オンライン会議報告） ・当番の仕事確認	9
12/8	第5回スタッフ会議	・アイスブレイク「日本語教育」・フードバンク事業開始 ・ベネッセ助成金事業の今後・コロナ禍の外国人の資格外活動について ・ごみの分別 ・埼玉県SDGsのパートナー登録を勧められた ・国際理解講座の謝金制度について	11
12/23	第6回スタッフ会議	・アイスブレイク「日本語教育」 ・ベネッセ事業の終了決定 ・国際理解講座の謝金制度について ・新学習室の利用方法 ・事務室のレイアウト	10
1/12	第7回スタッフ会議	・国際理解講座の謝金制度 ・生活相談の報告書について ・東入間地区の行政書士3名の今後の関わり ・緊急事態宣言での活動について	11
1/27	第8回スタッフ会議	・緊急事態宣言での活動について（Zoomでのスタッフ会議、日本語教室、café FICEC） ・「FICECを卒業した子どもたち」の冊子発注	10
3/9	第9回スタッフ会議	・アイスブレイク「作る責任・使う責任」 ・日本語教室の再開について ・連合埼玉「地域助成」の申請について ・今後のスタッフ会議の形式 ・ハローフレンズ、インフォメーション5月号 ・インターンシップ	12
3/31	第10回スタッフ会議	・アイスブレイク「最近感動したこと」 ・理事会報告 ・4月以降の日本語教室 ・連合埼玉「地域助成」に応募した ・グローバル人材育成センター埼玉（インターンシップ） ・学習室の活用法 ・翻訳について	7
4/13	第11回スタッフ会議	・アイスブレイク「気分転換法」 ・三菱×共同募金会の助成金の予算変更届 ・5月以降の日本語教室 ・ハローフレンズ、インフォメーション進捗状況 ・グローバル人材育成センター埼玉（インターンシップ）進捗状況 ・café FICECの開始時期について	12
4/28	第12回スタッフ会議	・2市1町の業務委託終了 ・三菱中間報告が終了 ・5月からの日本語教室 ・大井中央公民館日本語教室について ・ハローフレンズ進捗状況	8
5/11	第13回スタッフ会議	・生活相談学習会報告 ・café FICEC報告 ・埼玉県生涯学習社会教育課主催事業 ・クラウドファンディングを利用した子ども事業 ・各プロジェクトの事業報告	14

5/26	第14回 スタッフ会議	・生活相談の内容区分の変更 ・子どもの絵画展向け事業の進捗状況 ・フードバンクの対象を広げる ・県「ふじみ野市外国人親子支援事業」進捗状況	11
6/8	第15回 スタッフ会議	・東京出入国在留管理局の方による相談員向け研修（オンライン）	19
6/23	第16回 スタッフ会議	・八王子リホームの日程、費用、引越し等 ・生活相談の報告書の書き方 ・ふじみ野市社会教育課、生涯学習課地域共同作業	12
7/13	第17回 スタッフ会議	・赤い羽根「フードバンク活動等応援助成」に応募 ・日本テレビ有吉ゼミの工事が開始 ・富士見市国際フォーラム ・インターンシップの進捗状況 ・西小学校との事業 ・インフォとハローフレンズの内容検討 ・夏休みの子どものサポート ・富士見市国際交流フォーラム ・ハンゲルを勉強する会	13
9/14	第18回 スタッフ会議	・日本テレビ有吉ゼミとの覚書について ・インターンシップ報告 ・子ども達の学習サポートについて ・助成金の報告（採択・申請中） ・センターの組織図 ・当番の役割再確認	14
9/29	第19回 スタッフ会議	・かめのり財団の助成金が採択 ・埼玉県グローバル賞団体賞に自己推薦した ・三芳町健康増進課からの依頼 ・連合愛のキャンパ助成金について ・埼玉県生涯学習課「親子つながり審議会」 ・西公民館の「子どもの学習支援教室」 ・インドネシアの聾者の日本語勉強	12



5/12 毎日新聞掲載記事

## 2021年度(令和3年10月～令和4年9月)事業計画書(案)

	事業内容	実施日程・回数	実施場所	従事者	受益者
外国人の人権擁護と自立支援	生活相談	通年	FICEC、富士見市役所	10人	700件
	DV講習会・生活相談学習会	12回	FICEC、県内	10人	1000人
	フードバンクによる食料支援	随時	FICEC、県内	10人	埼玉県民
	パソコン教室	第2・4木曜日 24回	FICEC	2人	延150人
国際理解と国際交流の推進	国際理解講座	20回	公民館・社協等	3人	4,000人
	国際交流	10回	FICEC	5人	3,000人
多言語情報の収集と提供	生活情報誌の発行	6回1,500部	FICEC	13人	50万人
	生活ガイドHP維持管理	必要に応じて	FICEC	8人	45万件
	翻訳	随時	FICEC	10人	埼玉県民
	通訳	随時	FICEC・県内	5人	埼玉県民
外国人児童及び成人への日本語学習支援	日本語教室	月、木曜日	FICEC	20人	1,000人
子どもの健全育成	国際子どもクラブ	土曜日	FICEC	10人	延500人
まちづくりの推進	行政との協働事業	通年	県内	20人	埼玉県民
その他この法人の目的を達成するために必要な事業	機関誌の発行	年3回	FICEC	10人	3,000部
	ホームページ・Facebook・Instagram	随時	FICEC	10人	40万件

テレビ放送の余波が収まらず千客万来の毎日が続いている。無料で大改修してくださった日本テレビにお礼代わりに、どなたが来てもセンター内を見てもらい丁寧に説明させてもらっている。

日本人見学者に負けず劣らず、「こんな所にこんなうれしい場所があったのを知らなかった」と、フードバンクの食料をもらいに来たり、悩みを訴えたり、日本語を教えて欲しいという外国人の訪問者も多い。FICEC自身もかなりPRをしてきたつもりだがテレビの力のすごさに敬服する。

国や県や市町村からの協働事業依頼も急増し、これを機会に在留外国人支援制度に対する理解が深まることを期待している。

「コロナが早く収束して、FICEC主催でブックフェアやバザーを開きたい」「YouTubeを開設して学習支援や情報発信をしたい」「外国ルーツの子どもが褒められる機会を作りたい」「不登校がちの子どもが日本の子どもと知り合えるような子どもの居場所を作りたい」「マンスリーサポーターを増やしたい」「外国人労働者のためのテキストを作りたい」などなど、スタッフの意気込みを感じられる場面も多く、心強くうれしく思っている。皆の知恵と勇気と情熱を結集して、今年度も在留外国人支援に邁進したい。

(文責：石井ナナエ)

## ■ 生活相談

在留外国人の増加、コロナによる帰国困難者、難民申請を繰り返しても在留資格の取れない人の増加、入管法の変化など様々な影響を受けて、生活相談の内容が多様化してきた。

仮放免の人や精神や身体の障がいや、持病を持つ外国人の相談も増え、生活相談アドバイザーとしての力量を試される例も多い。素人で無料相談ではあるが、刻々と変化する海外や国内の事情に即した最新の正確な情報を提供しなければならない。



幸い、入国管理庁の職員さんが2カ月に1度はFICECに出張してくださって、指導を受けられるようになった。

Zoomを利用して、国内各地の学習会にも参加できるようになった。あらゆる機会を活用して、在留外国人の信頼できる相談相手になれるように努力したい。

## ■ フードバンクによる食料支援

FICECのフードバンク事業は、1年を通して在留外国人だけではなく2市1町の行政からも注目されている。単に食品提供するのではなく、生活相談と一体的に行っている点があげられる。

2021年度はかめのり財団の助成金をうけて事業の拡充を図る。具体的には、毎月延べ60世帯への食品提供、10世帯への宅配便による支援を中心に「FICECによる食を通じた地域の助け合いづくり」を進める。

また、赤い羽根共同募金会の助成を受けて、「多言語によるフードバンク解説書」の作成に取り組む。これにより外国人のためのフードバンクがあること、必要な人は利用できることを広めることができる。



## ■ 国際交流

①オンライン交流をもっと積極的に活用し、FICECの活動に興味を持っていても距離や時間などの理由で参加できなかった人も参加できるようにしたい。

②2020年10月からつなぐいのち財団の助成金による「埼玉県のふじみ野市・富士見市・三芳町の外国ルーツの子どものための絵コンテスト」を実施する。2市1町にて3回の展示会・授賞式・作品集発行も行う予定。

## ■ 同行通訳

同行通訳の依頼は行政、司法、医療、生活相談と限りなく広く、外国人が直面する言葉の壁とそれ以上の心の壁に寄り添う必要がある。そのために同行通訳者のより一層の語学研鑽の実施を目指したい。

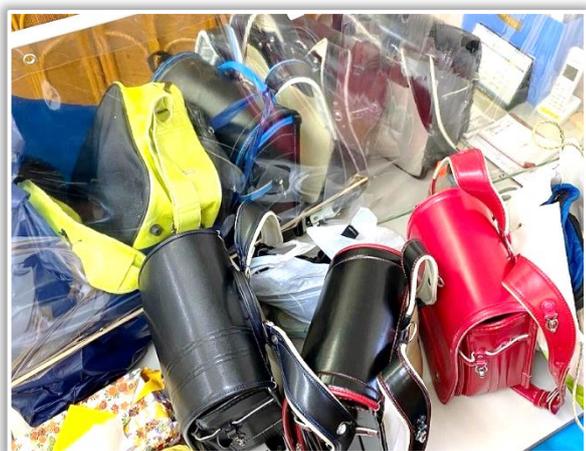
調停の通訳、児童相談所の通訳、遺産相続関連の一連の手続きなど多面の通訳依頼があり、特に医療分野は専門的用語を必要とするので、医療同行通訳養成も目指していきたい。

## ■ 国際子どもクラブ

- ・コロナ禍で連絡が取れなくなった児童生徒へどう繋がっていくか考えたい。
- ・学校で学べていない生徒、学校に行けなくなった生徒、15才以上で来日し高校受験を目指す生徒の支援ができる体制を整えたい。
- ・ふじみ野市で取り組んでいる「子どもの居場所作り」の一環として、小中高校生が気楽に集まれるたまり場的な「居場所作り」を目指したい。
- ・学習教材備品の整備と充実を目指す。



事務所の改修工事前に



寄付で集まったランドセル

埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
ふじみの国際交流センター

理事長 石井ナナエ

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-25  
TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291 <http://www.ficec.jp/>